

地方経済情報 Weekly No.436

日本産酒類の輸出額 2009 年以降初の前年割れ

1. 日本産酒類の輸出動向

国税庁によると、2023 年の日本産酒類の輸出金額は 1,344 億円（前年比▲3.4%）で、過去最高となった 2022 年に次ぐ水準でした（図 1）。一方で世界的な物価高や消費減退、在庫調整等の影響から 2009 年以降初の前年割れとなりました。日本国内のアルコール消費が減少し続ける中で、清酒とウイスキーにけん引されて輸出額は 10 年で 4 倍以上に伸びていますが、成長し続けるにはより一層戦略的に取組む必要がありそうです。

2019 年に国は日本産酒類のうち清酒、ウイスキー、本格焼酎・泡盛を輸出の重点品目に指定し、2025 年の輸出額目標を設定して取組みを推進しています（表 1）。2023 年実績を見ると、清酒とウイスキーについては順調に進捗していますが、本格焼酎・泡盛は微増にとどまっております。

2. 球磨焼酎の海外販路拡大プロジェクト

当研究所は 2020 年から球磨焼酎の海外販路開拓プロジェクトに取り組んでいます。日本産酒類の輸出が急増する中、本格焼酎及び球磨焼酎の価値を適切に伝えるプロモーションを行うことが重要と考え、フランスの一流飲食店関係者に向けたアプローチに注力してきました。今後は他地域への水平展開や、日本国内での消費再喚起も目指して取組みを継続していきます。

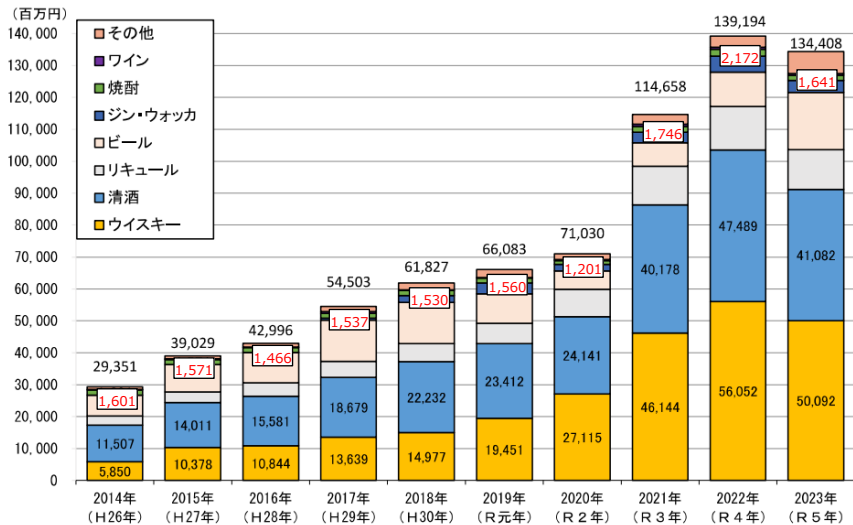
当研究所は、地域製品のブランディングや販路拡大などをはじめ、事業者の皆様と地域経済への包括的な支援を行い、持続可能な社会づくりへ向けた取組みを進めてまいります。

当研究所の球磨焼酎支援の取組みはこちら <https://www.reri.or.jp/shochu/>

※会員専用ページでは過去のすべての Weekly をご覧いただけます。



（図 1）日本産酒類の輸出動向



（表 1）国の輸出額目標

品目		2019年実績	2023年実績※1	2025年目標
清酒	金額	234.1億円	410.8億円	600億円
	進捗率※2	39.0%	68.5%	
ウイスキー	金額	194.5億円	500.9億円	680億円
	進捗率	28.6%	73.7%	
本格焼酎・泡盛	金額	15.6億円	16.4億円	40億円
	進捗率	39.0%	41.0%	

※1、※2：当研究所で追記

※2：各年実績÷2025年目標

（資料）

図 1：「酒のしおり」（国税庁、2024 年 6 月）

表 1：「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」

（農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議、令和 5 年 12 月改訂）

より当研究所作成

担当：研究員 古田 千智